

令和6年度

高階西小学校だより



学校教育目標 ～力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ～

令和6年10月1日 10月号

地域の皆さんに支えられて育つ子供たち

校長 齊藤 浩正

真夏のような暑さの日が続いていましたが、彼岸を過ぎた頃から秋らしい日が増えてきました。校庭の桜の木々の葉は、夏の終わりを告げるかのように風に舞い始めました。音楽室からは、音楽会に向けた練習の歌声や合奏の曲が聞こえはじめ、秋の訪れを感じます。

さて、9月は校外学習に出かけたり、学校外の講師の方にお越しいただいたりした学年が複数ありました。紙面の関係で全ては掲載できませんが、いくつか紹介いたします。9月10日(火)、1・2学年が生活科の学習で虫探しに行きました。2年生が探検した場所は、ふれあいの森の近くの休耕地で、地主さんが快く貸してくださいました。更に、子供たちが活動しやすいように、緑のサポーターの皆さんが事前に草刈りを行ってくださいました。当日は緑のサポーターの皆さんに昆虫のことを教えていただきながら活動しました。1年生が探検した場所は、ふれあいの森とピンク公園で、交通安全ボランティアの方が見守りをしてくださいました。9月19日(木)には、2学期の読み聞かせが始まり、全学級で読み聞かせを行っていただきました。7月以来のしばらくぶりでしたが、子供たちは、ボランティアさんの読み聞かせる本を食い入るように見つめ、本の世界に引き込まれていました。同9月19日(木)からは、ミシンボランティアの皆さんに6学年の家庭科の授業をサポートしていただいています。子供たちの作品制作に寄り添いながら、ミシンの使い方を教えていただいています。9月26日(木)には、3学年が社会科の学習で、校区内にあるスーパーマーケットに見学に行きました。業務多忙な中、店内を案内していただき、商品を販売するための工夫やお客様への心配りなど、教科書だけではわからないことを親切に教えていただきました。

2学期が始まって、わずか1か月の間ですが、高階西小学校の子供たちのために、たくさんの地域の皆さんがボランティアで、また業務の最中にもかかわらずお力を貸していただき、感謝の念に堪えません。改めて子供たちは、ふるさとである川越、高階地域の皆様に育てていただいていることを強く感じます。今後も、学校、地域、家庭が連携しながら、子供たちの健やかな成長を支えていければ幸いに存じます。

読書の秋 10月の生活目標は「本に親しもう」です。

川越市では小学校全校で、「読書マラソンカード」に取り組んでいます。20冊本を読むと、校長より認定証を貼り付けて渡しています。今年度もすでに100人以上の子供たちが認定証を手に入れました。(中には2枚目3枚目の人もいます) 読書には様々なメリットがあります。語彙数が増える。文章を書く力がつく。読解力が育つ。理論的な思考が育つ。集中力がつく。知識が得られる。想像力が豊かになる。等々。

パソコンやスマートフォン全盛の今日ですが、ご家族でも読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。